

キャラクター名 Charred

プレイヤー名

シンドローム サラマンダー ワークス 工員 カヴァー 死体処理
オプショナル サラマンダー 年齢 20 性別 男
覚醒 渴望 衝動 破壊 初期侵食率 33%
出自 ごく普通の家庭 経験 永劫の別れ 邂逅 秘密

基本値 ワークス ボーナス 成長 他修正 能力値 HP 32
肉体 4 0 1 5 行動値 4
感覚 0 1 0 1 (非装備時) 4
精神 2 0 0 2 戦闘移動 9
社会 2 0 0 2 2 全力移動 18

肉体 感覚 精神 社会
技能 SL 修正 技能 SL 修正 技能 SL 修正 技能 SL 修正
白兵 4 射撃
回避 1 知覚 1 意志
知識: 情報: 軍事 1
知識: 情報: 裏社会 2

武器・コンボ 能力 命中値 G値 攻撃力 射程 メモ
[バーニングナイフburning knife] (武器作成) 白兵 5r+2 6 11+6 <氷炎の剣> + <地獄の氷炎>
[フレアスタックflare stack] 初手コンボ+フレイトン 白兵 5r+2 6 11+6-4 C値-2、白兵攻撃の射程を視界に変更、攻撃力-4
[フレイトンスラッシュflame slash] 29→目コンボ+結合粉砕 白兵 7r+2 6 11+6 C値-2、ダイス+2個、装甲無視
@100 [バーニングナイフburning knife] (武器作成) 白兵 5r+2 6 12+9 <氷炎の剣> + <地獄の氷炎>

防具 価格 装甲 回避 行動 メモ

所持品
コネ: 情報屋
コネ: 手配師

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス
対象 感情(pos) 感情(neg) タイム消費
切符を送って来た相手 P 好奇心 N 嫌悪
死体 P 執着 N 偏愛
申し子 P N

最大財産P: 6 残り財産P: 4

スキル名 SL コスト タイミング 射程 対象 判定 制限 メモ
ワーディング ★ - オート 視界 シーン 自動 -
効果: 非オーヴァードのエキストラ化
リザレクト 0 1d10 気絶時 - 自身 自動 ↓100
効果: コスト分のHPで復活
C: サラマンダー 2 2 メジャー
効果: C値-2
氷炎の剣 4 3 マイナー 至近 自身 自動成功 -
効果: シーン間武器作成、<白兵>、命中-2、攻撃力+[Lv+6]、G値6、射程至近
フレイトン 1 2 メジャー 視界 - 白兵 -
効果: エフェクトを組み合わせた白兵攻撃の射程を視界に変更、攻撃力-[5-Lv(最大0)]にする
結合粉砕 2 4 メジャー シンドローム ピュア
効果: エフェクトを組み合わせた判定ダイス+Lv個、対象の装甲無視してダメージを算出
アンプリフィケーション 3 5 メジャー - - - Dロイス
効果: あらゆる判定に組み合わせ可、攻撃力+[Lv×5]、1シナリオに3回まで
炎の刃 1 2 メジャー 武器 - 白兵/射撃 -
効果: このエフェクトを組み合わせた攻撃の攻撃力を+[Lv×2]する
不燃体 ★ - 常時 至近 自身
効果: 燃えないし寒くない
炎の理 ★ - メジャー 至近 自動
効果: 炎を作り出すエフェクト、この効果でダメージを与えることはできない、必要ならRC判定

サラマンダーピュア
Dロイス: 申し子
攻撃方法は白兵/至近視界
炎で高熱の大型ナイフを作成し炎を纏って切りかかる
★成長の方向性: 今の所単体アタッカー特化型にしていこうかと思っています(サラマンダーに範囲選択なかった...)
氷炎の剣→LIMIT地獄の氷炎取得
結合粉砕、フレイトンのLV↑
ジヤームや死体を燃やし、跡形もなく消し炭にして「無かったことにする」死体処理専門の人物
本名はあるが本人が名乗るのを辞めてしまったためコードネームのみ「Charred」(チャード)と呼ばれる
幼いころ覚醒の衝動と共に両親を焼いてしまったが、炎に飲まれていく両親を見た事を機に「生き物」や「生きていたもの」を燃やす事に執着するようになってしまった
本当は兄が居るが、Charredが生まれた時には既に誘拐されてしまっておりその事実を知らないまま両親を殺害してしまった為、自分は一っ子だったと思っている
人生生き難い様な人物だが、仕事柄「燃やす」機会に恵まれているので楽しい人生を送れてはいる様子
ジヤームや人を燃やすときは灰になるまでじっと見守っていたいタイプ
◆ある日チャードが居るオーヴァード派遣会社「Just as usual」に手紙が届く
中には片道切符が1枚、宛名には「緋乃蘇芳」と名前があった
社長からそれを手渡され、一度は動揺するものの、この手紙を送って来た相手に対し強い興味を抱く
例えばそれが異でも、自分の本名を知ったうえでこの切符を送って来たその意味を知りたいと今回列車に乗る為、イタリアローマまで赴いた(ローマまでの移動は知り合いのディメンションゲートを利用している)